

低血糖でブドウ糖を投与され救急搬送された患者さまへの
後ろ向き研究のお知らせ

低血糖になると意識消失する場合があります、速やかに血糖上昇の処置が必要となります。平成 26 年の救急救命士法改正により、救急救命士によるブドウ糖投与が認められるようになりました。一般的には低血糖時 50%ブドウ糖(高濃度ブドウ糖)を使用しますが、体液よりも濃い濃度のため血管外にブドウ糖が漏れた場合、組織障害を起こす可能性があります。このため、より安全に低血糖を改善させるために 20%ブドウ糖(低濃度ブドウ糖)を 2020 年からは使用しております。

今回、50%ブドウ糖使用例と 20%ブドウ糖使用例を後ろ向きに調査し、有効性や安全性について確認することとしました。

研究の題名：低血糖患者に対する病院搬送前の救急救命士による 50%ブドウ糖投与と 20%
ブドウ糖投与の有効性と安全性の比較検討

データ取得期間：2016 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日

研究の対象：上記期間に志太榛原地区で救急救命士によりブドウ糖投与を受けた患者さま

取得情報：救急隊のメディカルコントロール検討会で提出された資料と活動記録、病院内での診療録情報、検査データ

※上記の個人情報は、個人が特定できないように加工した上で収集しデータ解析します。

研究責任者：焼津市立総合病院救急科 科長 富田守

研究協力者：東京大学公衆衛生学 准教授 稲田晴彦

【研究の方法について】

志太榛原メディカルコントロール協議会で検討されたデータベースをもとに症例患者を抽出し、搬送先の病院内での追加の治療、有効性、合併症の有無、予後などの情報を取得します。各病院で得られた個人情報は匿名化した上で研究責任者が収集しデータ解析します。

【情報を利用するものの範囲について】

既存の情報の提供を行う機関：

- ・志太榛原地区の消防機関（志太消防、静岡消防）
- ・志太榛原地区のメディカルコントロール担当する医療機関（焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、島田市総合医療センター、榛原総合病院、甲賀病院）

データ管理する機関：

- ・中部健康福祉センター及び上記機関

【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工し、個人情報が削除された上で、統計処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）にそって、個人情報を厳重に保護します。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。

【予想される利益と不利益について】

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は 0 ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

【利益相反について】

この研究のために、企業等からの資金提供はありません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。

【研究への不参加の自由について】

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください

【問い合わせ先】

コミュニティーホスピタル甲賀病院 救急科（担当：園井）

電話 054-628-5500

受付日時：平日 9：00～17：00